神楽名 中之又神楽

伝承地 中之又地区
木城町中之又

指定等 国指定重要無形民俗文化財

伝承団体 中之又神楽保存会
代表　長友敏博

大社舞

神楽の概要・由来・その他

中之又神楽が継承されている中之又地区は、宮崎県中央部に帯状の地形をなす木城町の北部山間部に位置する集落である。町村をまたぎ、この一帯を古くは米良山と称した。

三十三番の神楽が奉納される中之又鎮守神社は、永正元年（1504）の創建と伝わる。山岳の社らしく、肥後・豊後・日向にまたがる祖母山より勧請したと伝わる姥嶽大明神のほか、神武天皇、宇佐八幡、春日稲荷大明神の四柱を祀る。

中之又ではそれぞれの集落の鹿倉社に、山と狩猟の神である鹿倉様をお祀りしている。鹿倉様の神面は中之又の六つの集落の社家によって集落の守り神として受け継がれており例大祭にて一堂に会する。中之又の各集落に建つ鹿倉社での小祭り「氏神祭」が終了しなければ、集落の総社である中之又鎮守神社の大祭は行われない。鹿倉が集落と緊密に結び合っている。

中之又鎮守神社の境内に、神楽を舞う舞殿を設える。舞殿の方位の定めは、密教の五つの知慧に沿っているという。舞殿中央頭上には、梵天（五色の切り紙で作った房）が下がる。

芸能の機会・場所

- 中之又神楽…毎年12月の第２土曜日(夕刻)から翌日曜日(朝)まで神楽奉納（中之又鎮守神社境内）
- 氏神祭（小祭り）…４集落（屋敷原、筧木、中野、板谷）の小祭りで、神楽三番「奉賛舞」「鹿倉舞」「舞上」を奉納。神事のみを行う集落もある

演目一覧

祭典式・浦安の舞
1番：一番神楽(奉賛舞)
2番：花の舞(地割)
3番：三番神楽(鬼神地舞)
4番：鬼神舞
5番：大社地舞
6番：大社舞
7番：宿神地舞
8番：宿神舞
9番：天神地舞
10番：天神舞
11番：鹿倉・稲荷地舞
12番：鹿倉舞
13番：稲荷舞
14番：弓将軍
15番：柴荒神
16番：舞上
17番：四人神崇
18番：中央之舞・舞上
19番：一人神崇
20番：獅子舞
21番：獅子とり荒神
22番：磐石舞
23番：神和気
24番：住吉之舞
25番：若男之舞
26番：伊勢神楽
27番：手力雄之舞
28番：戸開雄之舞
29番：繰り降ろし
30番：成就神楽
31番：神送神楽
32番：宮神楽
33番：舞上
ししば様

※令和元年（2019）12月14日～15日に奉納された演目に基づく

❖ 演目の特徴

中之又神楽三十三番は、１番「一番神楽(奉賛舞)」～13番「稲荷舞」までが「序」、14番「弓将軍」～24番「住吉之舞」までが「破」、25番「若男之舞」～33番「宮神楽」までが「急」という三段構成になっている。

米良の神楽の特徴ともいえる祭神迎え、清め祓いの「地舞」が番付名においても明確に位置づけられており、神々が守護されている。

６番「大社舞」は御祭神である姥嶽大明神を現しており、中之又神楽で一番の神格を持つ。この神楽が終了するまでは、神楽セリ歌を出すことは禁止されている。現在使用されていない古い御神面は、修験僧大円の作とされている。

12番「鹿倉舞」、20番「獅子舞」、21番「獅子とり荒神」などの演目や、神楽の締めくくりに行われる「ししば様」（境内の「猪死場様」に逎のツト(逎幣２４本を挿す椎柴の苞)部分を納め行う清めの儀）など、随所に狩猟儀礼が反映されている。

❖ その他の特徴

- 面 … 鬼神、大社、宿神、天神、鹿倉、稲荷、柴荒神、獅子、獅子とり荒神、磐石、神和気（嫁女面）、住吉、若男、手力雄、戸開雄　等
- 楽…太鼓、横笛、手拍子（楽打ち）
- 装束 … 白張、狩衣、白狩衣（浄衣）、素襖、千早、襷、大口袴、烏帽子、頭巾、毛頭、冠　等
- 採り物…鈴、扇、御幣、ツエンボ（杖）、膳、榊葉、刀、磐石道具　等
- 文書…「神楽次第」寛延２年（1749）12月に板谷の中武善兵衛が伝書として記した。安倍岩雄家所蔵。当時の舞殿の設え方の記述あり

「米良山の神楽調査報告書」(令和２年(2020))　等

❖ 伝承の現状・課題

中之又神楽は、社家と集落で暮らす氏子を中心に、閉校した中之又小学校を利用した山村留学で神楽を修得した子どもたちが、成長した現在でも祭りの日には戻り、奉納している。集落には神楽セリ歌の名手がおり、舞に合わせ観客を巻き込み、座を盛り上げる。

令和３年（2021）３月現在、神楽保存会を中心とした約60名で、夜を徹しての祭りが行われている。公演等にも参加し、神楽の保存継承につとめている。

鹿倉舞

獅子とり荒神

繰りおろし舞

宮崎県教育委員会　文化財課　令和３年（2021）３月発行
令和５年（2023）３月再発行